

社会資本総合整備計画

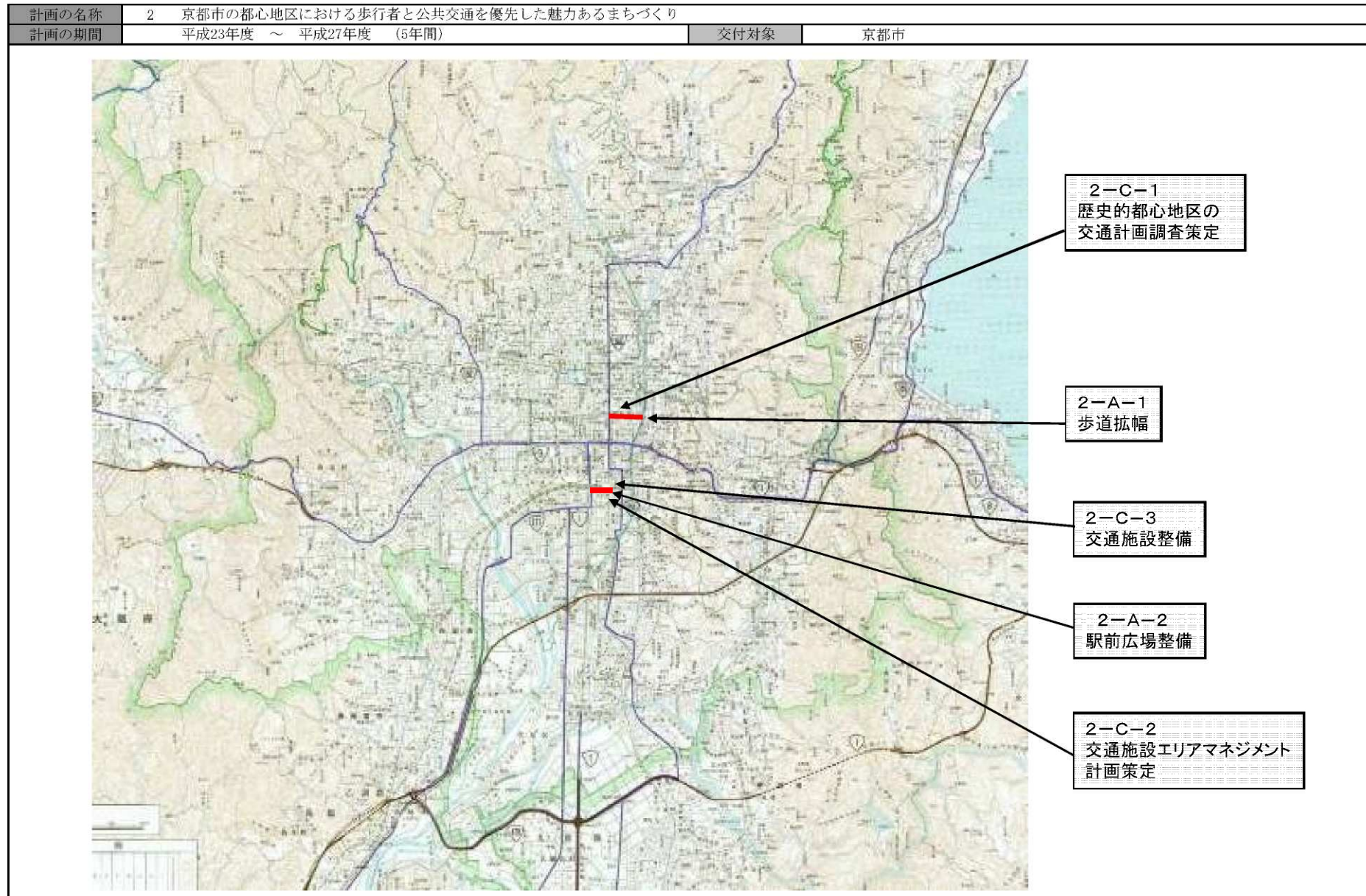
平成 2 5 年 4 月 1 日

計画の名称		2 京都市の都心地区における歩行者と公共交通を優先した魅力あるまちづくり																			
計画の期間		平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)					交付対象		京都市												
計画の目標																					
京都市の魅力と活力が凝縮した都心地区において、快適で安全な歩行環境を整備するとともに、公共交通機関の利用を促進することにより、歩行者と公共交通を優先した魅力あるまちづくりを推進する。																					
計画の成果目標（定量的指標）																					
①四条通のピーク時歩行者数について当初H 2 3 は5,900人／時間からH 2 7 は6,500人／時間に増加 ②京都駅南口駅前広場における鉄道と路線バスの1時間当りの利用者合計乗継時間をH27末に25%短縮する。 ③対象路線における歩道面積を2 0 %拡大する。																					
定量的指標の定義及び算定式																					
		定量的指標の現況値及び目標値										備考									
		当初現況値 (H23当初)		中間目標値 (H25末)		最終目標値 (H27末)															
①四条通のピーク時に歩道を通行する歩行者数（人／時間）を社会実験時（H1 9 年度）のデータを基に算定する。		5,900 人		－		6,500 人															
②最終目標年度における鉄道と路線バスの1時間当り利用者合計乗継時間を、整備を行った場合と行わなかった場合で算定し、どれだけ短縮したかを百分率で表す。 (鉄道と路線バスの1時間当り利用者合計乗継時間の短縮率) = (1 - $\frac{\Sigma(\text{ピーク時利用者数} \times \text{乗継時間}) \text{【整備あり】}}{\Sigma(\text{ピーク時利用者数} \times \text{乗継時間}) \text{【整備なし】}}$) × 100		－		－		25 %															
③対象路線における歩道面積変化率 (対象路線歩道面積変化率) = ((対象路線整備後歩道面積) / (対象路線既存歩道面積) -1) × 100		－		－		20 %															
全体事業費		合計 (A+B+C)		5,453 百万円		A		5,400 百万円		B		0 百万円		C		53 百万円		効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		1.0%	

交付対象事業																			
A 道路事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
											H23	H24	H25	H26	H27				
2-A-1	街路	一般	京都市	直接	京都市	市町村道	改築	四条通	歩道拡幅 L=1.3km	京都市						2,900	地域自主戦略交付金 から移行		
2-A-2	街路	一般	京都市	直接	京都市	市町村道	改築	八条通外1	街路・駅前広場整備 L=0.8km	京都市						2,500	地域自主戦略交付金 から移行		
2-A-3																			
合計																5,400			
B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
											H23	H24	H25	H26	H27				
1-B-1																			
1-B-2																			
1-B-3																			
合計																			
C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
											H23	H24	H25	H26	H27				
2-C-1	計画・調査	一般	京都市	直接	京都市	計画・調査	歴史的都心地区の交通調査計画策定	計画策定 A=0.69k㎡	京都市							24	地域自主戦略交付金 から移行		
2-C-2	計画・調査	一般	京都市	直接	京都市	計画・調査	交通施設エリアマネジメント計画策定	計画策定 A 0.01k㎡	京都市							4	地域自主戦略交付金 から移行		
2-C-3	施設整備	一般	京都市	間接	京都市	施設整備	交通施設整備事業	駅前広場内乗降場整備 A=140㎡	京都市							25	地域自主戦略交付金 から移行		
合計																53			
番号														一体的に実施することにより期待される効果				備考	
2-C-1														「人が主役」の道づくりを実現するため、都心部の道のあり方を調査・計画策定し、対策を講じることにより、通過交通の抑制を図る。					
2-C-2														八条通外1の整備と一体的に、同事業で整備する京都駅南口駅前広場の交通施設のエリアマネジメント計画を策定し、交通施設の効率的な管理・運営を行うことにより、交通の円滑化を図る。					
2-C-3														八条通外1の整備と一体的に、京都駅北口駅前広場の交通施設を整備することにより、京都駅における公共交通機関の乗換え利便性の向上を図る。					
その他関連する事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
											H21	H22	H23	H24	H25				
合計																0			
合計																0			

A*	0 百万円	B*	0 百万円	C*	0 百万円	効果促進事業費の割合 (C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))	1.0%
----	----------	----	----------	----	----------	---	------

(参考図面) 社会資本総合整備計画



社会資本整備総合交付金チェックシート

(汎用タイプ)

計画の名称：2 京都市の都心地区における歩行者と公共交通を優先した魅力あるまちづくり
都道府県名：京都市

チェック欄

Ⅰ. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
Ⅱ. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
Ⅲ. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○